

市民参加に関する新しい事業や取組

(令和2年3月20日から令和2年6月18日までに広報発表されたもの)

広報発表日	概要	所属
3月27日	<p>「文化庁京都移転・私たちができること推進チーム」による「文化庁ウェルカム動画」の公開について</p> <p>「文化庁京都移転・私たちができること推進チーム」（以下「文化庁チーム」という。）は、平成28年11月に、文化庁の京都移転を契機に、「文化の力で日本を元気にするために、自分たちに何ができるか」を考え、連携して互いの取組の推進を図るなど、市民ぐるみで行動することを目的に結成されたチームです。</p> <p>令和元年7月に開催した「文化庁チーム」第5回会議で、「私たち文化庁チームに何ができるか」をテーマに議論した結果、今年度の取組として、チームメンバーが文化庁京都移転を歓迎する「文化庁ウェルカム動画」を制作いたしました。</p> <p>京都の文化を振興する多様なメンバーの活動紹介やメッセージリレーなど、3種類の動画を公開し、文化庁京都移転の機運醸成を図ってまいります。ぜひ、ご覧ください！</p> <p>動画内容（3種類）</p> <p>(1) WELCOME!文化庁京都移転 ～いよいよ！文化庁が京都移転！！編～（4分54秒） 文化庁チームメンバーから3団体（京都学生祭典実行委員会・京都料理芽生会・天才アートKYOTO）をピックアップし、団体の活動紹介等を行う文化庁ウェルカム動画 ➡ YouTubeURL : https://youtu.be/10jbCBzqNcM</p> <p>(2) WELCOME!文化庁京都移転～私の「My Bunka」編～（2分49秒） 文化庁チームメンバーがフリップに文化庁の京都移転を歓迎する言葉を書いて発信するメッセージリレー動画 ➡ YouTubeURL : https://youtu.be/0cK0wZou7bE</p> <p>(3) WELCOME!文化庁京都移転～私の「My Bunka」編～30秒ver (2)の動画を30秒に短縮したバージョン ➡ YouTubeURL : https://youtu.be/Jm0TxLeX0Bw</p>	総合企画局 総合政策室 (SDGs・市民協働推進担当)
4月2日	<p>「左京・地域ゆかりの文化コーナー」を設置しました！</p> <p>第1弾は、左京区の公立小学校に収蔵されている生活民具の紹介パネルを展示します！</p> <p>左京区では、「左京・地域ゆかりの文化発信・継承プロジェクト」を立ち上げ、左京区の各地域において継承されてきた伝統行事、郷土料理等、地域ゆかりの文化の魅力を区内外へ発信するとともに、50年後、100年後まで継承していけるよう、様々な取組を進めています。</p> <p>この度、来庁者の皆様をはじめ多くの方々に、伝統行事や暮らしの文化といった「左京・地域ゆかりの文化」を気軽に見て、触れて、知っていただくことにより、地域にある文化の魅力を再発見し、関心と理解を深めていただく機会を提供するため、「左京・地域ゆかりの文化コーナー」を設置しますので、お知らせします。</p> <p>1 場所 左京区役所1階 北側廊下 2 展示内容 テーマ「左京区の小学校が伝える生活民具」</p>	左京区役所 地域力推進室

広報発表日	概要	所属
4月13日	<p>#右京エール飯 キャンペーンの開始について</p> <p>右京区役所は、区内のお店※のテイクアウトやデリバリーメニューを区民の皆様が購入し、その写真をSNSで発信することで、更なる消費拡大を呼びかけるキャンペーンを開始しますので、お知らせします。</p> <p>これは、新型コロナウイルス感染症の拡大による外出・外食自粛の影響を受け、経済的な苦境に立たされる区内のお店を区民等で応援するため、緊急的な地域経済対策として実施するものです。</p> <p>※ カフェや居酒屋等の飲食店のほか、農家の直売所・八百屋・パン屋やコーヒースタンドなど、食材・商品の持ち帰りができるお店であれば、業種は問いません。</p> <p>開始日 令和2年4月13日（月曜日）から ※期限の設定なし</p>	右京区役所 地域力推進室
4月14日	<p>－KBS京都テレビ・京都新聞との共同企画「京都・学びプロジェクト」－臨時休業期間中における学習系特別放送・動画配信等について</p> <p>本市では、株式会社京都放送（代表取締役社長 細井俊介）（以下、「KBS京都テレビ」という。）及び株式会社京都新聞社（代表取締役社長 山内康敬）（以下、「京都新聞」という。）とともに、全国でも例をみない、地元放送局・新聞社と行政機関の3者が一体となって「子どもの学びの機会の創出」を進める、「京都・学びプロジェクト」を共同企画し、令和2年4月10日（金曜日）からの市立学校園での一斉臨時休業期間中の児童生徒の家庭学習を支援するコンテンツとして、KBS京都テレビでの「特別番組の放送」（計30回）と京都新聞による「子ども向け新聞『ジュニアタイムズ』の特別版の発行」（計3回）を行います。</p> <p>1 特別番組「がんばれ！京都の子どもたち」の放送（KBS京都テレビ）</p> <p>（1）対象学年 小学校4年生～中学校3年生</p> <p>（2）対象教科 国語，社会，算数（数学），理科，外国語（英語），音楽，図画工作（美術），保健体育，技術，家庭，道徳</p> <p>（3）放送日・回数 4月20日（月）～4月30日（木）の平日30分枠×30回※一部25分枠あり ※上記の各回放送後に、動画投稿サイト「YouTube」に、特別番組と同内容のものを公開します。</p> <p>2 子ども向け新聞「ジュニアタイムズ」の特別版の発行（京都新聞）</p> <p>（1）発行回数 全3回（4月19日，26日，5月3日の各日曜日）</p> <p>（2）配布部数 市立小・中・小中・総合支援学校（小4～中3）の全児童生徒 約6万部（各回）</p> <p>（3）紙面内容（予定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの感染防止に向けた注意点や臨時休業期間中の過ごし方 ・KBS京都テレビの特別番組内容のポイントとなる事項の紹介・解説 ・家庭で親子一緒にできる運動の紹介 <p>（4）京都新聞ホームページ</p> <p>京都新聞ホームページ内の「ジュニアタイムズ」特設ページにおいて、上記の特別版内容及び子どもたちの学び、心のサポートに寄与するコンテンツを紹介。</p>	教育委員会 事務局 総務部総務課

広報発表日	概要	所属
4月20日	<p>「学まち連携大学」促進事業の募集について 地域との連携を進める大学を応援！</p> <p>京都市及び（公財）大学コンソーシアム京都では、地域連携の取組を、学部・学科の枠を超えて、大学の組織的な取組として定着させ、充実・発展させることを目的に、「学まち連携大学」促進事業」を平成28年度から実施しています。</p> <p>この度、全学的に地域連携に取り組む大学の裾野の一層の拡大を図るため、新たに対象となる取組を下記のとおり募集します。</p> <p>(1) 申請者 大学コンソーシアム京都加盟大学・短期大学（以下「大学」という。）の学長（1大学1申請。学部、学科等では申請不可）。</p> <p>(2) 補助対象となる取組 大学が、地域課題解決に資する住民組織や市民活動団体、地域企業、経済団体等と連携した教育プログラムを開発・実施する取組（主に京都市内をフィールドとするもの）。</p> <p>(3) 補助金額及び補助期間 ○ 補助金額（令和2年度） ・ スタートアップ型：最大2,000千円／件 ・ 発展型：最大3,000千円／件 ○ 補助期間：最大で令和5年度まで（4年間）</p> <p>(4) 採択件数 スタートアップ型及び発展型あわせて5件程度</p> <p>(5) 募集期間 令和2年4月21日（火曜日）から6月12日（金曜日）まで</p>	総合企画局 総合政策室（大学政策担当） （公財）大学コンソーシアム京都

広報発表日	概要	所属
5月13日	<p>ひとつではなく、「自分ごと」、「みんなごと」として市民・行政が協働！ ～“みんなごと”のまちづくり推進事業「まちづくり・お宝バンク」～ 「新型コロナウイルスによる危機や課題に対応する取組提案」の募集について</p> <p>京都市では，“みんなごと”のまちづくり推進事業を実施し、「まちづくり・お宝バンク」に登録された取組提案の実現に向けた支援を行うとともに、京都のまちづくり活動の活性化を図っています。</p> <p>この度，“みんなごと”のまちづくり推進事業「まちづくり・お宝バンク」の“特定テーマ”として、新たに、「新型コロナウイルスによる危機や課題に対応する取組提案」を募集し、広く市民社会に共有することで、新型コロナウイルス感染症の影響による厳しい社会情勢を乗り越えていく一助としていきます。</p> <p>1 募集テーマ 新型コロナウイルスによる危機や課題に対応する取組提案</p> <p>2 目的（社会的意義） 新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、市民生活や経済活動に甚大な影響が生じている。この影響は一定長期化することも予想され、収束の目途が立った後にも様々な変化が生じ得ると思われる、こうした状況への対応が求められている。</p> <p>こういった社会情勢の変化に対しては、市民自ら、オンライン対応やテイクアウトへの業態変化など、様々な行動変革や挑戦が行われているが、より一層、新たな社会を構築していくための積極的なアイデアや具体的対応の実践を模索し、その実践を共有することが重要となっている。</p> <p>については，“みんなごと”のまちづくり推進事業「まちづくり・お宝バンク」の“特定テーマ”として、「新型コロナウイルスによる危機や課題に対応する取組提案」を募集し、広く市民社会に共有し、連携の輪を拡げることで、新型コロナウイルス感染症の影響による社会情勢を乗り越えていく一助としていく。</p> <p>3 募集期間 令和2年5月13日～令和3年3月31日（延長の可否は別途検討）</p> <p>4 取組提案対象者 まちづくり団体，NPO，企業，大学関係者等</p>	総合企画局 総合政策室 (SDGs・市民協働推進担当)

広報発表日	概要	所属
5月15日	<p>京菓子展「手のひらの自然—禅ZEN」2020京菓子デザイン公募について</p> <p>京都市では、平成29年3月に京都をつなぐ無形文化遺産として「京の菓子文化」を選定しました。</p> <p>この度、京都市及び（公財）有斐斎弘道館では、「京の菓子文化」を次の世代に伝えていくため、京菓子展を開催するに当たって、京菓子デザインを募集します。</p> <p>1 募集期間 令和2年6月20日（土）～令和2年8月31日（月） （参考：京菓子展11月1日（日）～11月15日（日））</p> <p>2 テーマ 「禅ZEN」</p> <p>京菓子は、茶の湯とともに、意匠、銘、食感などが工夫され、発展を遂げました。茶の湯の歴史は、禅僧でもある栄西が中国から茶の種を持ち帰ったことから始まり、その後も禅の精神に影響を受けながら大成されました。近年、世界から注目を集めている日本の禅。そこには、日本人の感性、美意識が凝縮されています。</p> <p>「禅ZEN」をテーマに、京菓子の意匠を考えてみませんか。創造性に満ちたデザインをお待ちしております。</p> <p>3 募集内容</p> <p>(1) 京菓子デザイン部門 デザインを審査します。入選デザインは菓子職人により実作され展示されます。</p> <p>(2) 茶席菓子実作部門 茶席菓子（いわゆる上生菓子）を試作写真及び実作品にて審査します。</p>	<p>文化市民局 文化芸術都市推進室 文化財保護課</p>

広報発表日	概要	所属
5月29日	<p>京都市いきいき市民活動センターの更なる進化に向けた有効活用に係るサウンディング型市場調査の実施について</p> <p>京都市では、市民公益活動、サークル活動など市民活動を幅広く支援していくため、京都市市民活動総合センターを補完し、市民がいきいきと活動できる場所と機会を提供する施設として、市内13箇所京都市いきいき市民活動センター（以下「いきいきセンター」という。）を設置しています。</p> <p>今後、このいきいきセンターが更に進化し、市民活動支援の取組を持続可能なものとしていくため、公の施設としての運営に捉われない柔軟な手法を含めた様々な活用方法も検討しているところです。</p> <p>そこで、この度、サウンディング型市場調査（※）として、幅広い提案又は意見（以下「提案等」という。）を募ります。</p> <p>※ サウンディング型市場調査</p> <p>公有財産の活用や民間活力導入の検討などを行う際、事業発案や事業化検討段階において、事業者等との対話を通じ、アイデアの収集や市場性の有無、実現可能性の把握を行うもの。</p> <p>1 調査対象 京都市いきいき市民活動センター（北いきいきセンターを除く市内12箇所）</p> <p>2 対象者（応募資格者） いきいきセンターを活用した市民活動を支援・活性化する事業や、企業CSR、ソーシャルビジネスなどに関心のある民間事業者、特定非営利活動法人等</p> <p>3 本調査で頂きたい提案等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民活動支援を更に推進するための利活用策 ・ 市民活動の拠点として更に活動を活性化する利活用策 ・ 地域の活性化に資する事業を効果的・継続的に実施可能とする利活用策 <p>4 受付期間 令和2年5月29日（金曜日）から令和2年7月31日（金曜日）午後5時まで（必着）</p>	文化市民局 地域自治推進室 （市民活動支援担当）

広報発表日	概要	所属
6月9日	<p>「スタートアップによる新型コロナ課題解決事業」補助金交付対象事業の募集 について</p> <p>国内外における新型コロナウイルス感染症の拡大によりこれまでの生活のあり方や価値観が激変しており、医療、福祉、教育、文化等のあらゆる分野において、様々な課題が顕在化しております。</p> <p>この度、これらの社会課題を新しいアイデアや技術、ネットワークで解決するイノベーションに挑戦するスタートアップ等を募集します。</p> <p>1 募集概要（詳細は、募集要領等 https://www.astem.or.jp/entre/startup_app 参照）</p> <p>(1) 補助対象者</p> <p>ア スタートアップ（創業10年未満）</p> <p>※ 応募時点で京都市内に拠点がないスタートアップ、創業予定者でも応募可能ですが、令和3年3月1日までに京都市内に事業所等を設ける必要があります。</p> <p>イ 京都市の企業認定制度で認定を受けている中小・ベンチャー企業</p> <p>※ 対象企業は、京都市ベンチャー企業目録委員会Aランク認定企業、オスカー認定企業知恵創出“目の輝き”認定企業、「これからの1000年を紡ぐ企業認定」認定企業、京都市スタートアップ支援ファンド投資先企業、京都市輝く地域企業表彰企業となります。</p> <p>(2) 補助対象事業・経費</p> <p>コロナウイルスの拡大により顕在化している社会課題の解決に寄与する新たな技術の開発やサービスシステムの構築などの事業の実施に係る設備機器の購入費や試作品等の材料費、直接人件費等を補助します。</p> <p>(3) 補助金額等</p> <p>ア 補助金額上限 100万円／補助率 4／5以内</p> <p>イ 採択予定件数 35件程度</p> <p>(4) 補助対象となる事業期間</p> <p>令和2年4月1日（水）～令和3年3月1日（月）</p> <p>(5) 申請書受付期間</p> <p>令和2年6月12日（金）～同月30日（火）17時まで（必着）</p> <p>※ 受付最終日17時以降は、申請書の受取ができませんので、申請日程に御注意ください。</p>	<p>産業観光局 地域企業イノベーション推進室 公益財団法人京都高度技術研究所</p>